



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月11日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8016 URL <https://www.onward-hd.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)保元 道宣
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 財務・経理・IR担当 (氏名)佐藤 修 (TEL) 03(4512)1030
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	141,383	8.4	9,700	124.8	9,055	92.7	5,746	111.0
2023年2月期第3四半期	130,397	4.9	4,315	-	4,698	-	2,723	△66.3

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 4,662百万円(△52.7%) 2023年2月期第3四半期 9,849百万円(△2.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	42.35	42.29
2023年2月期第3四半期	20.08	20.05

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2024年2月第3四半期 13,282百万円(61.1%) 2023年2月第3四半期 8,244百万円(191.0%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	172,857	82,719	44.9
2023年2月期	159,198	85,073	47.0

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 77,582百万円 2023年2月期 74,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	-	-	12.00	12.00
2024年2月期	-	-	-	-	-
2024年2月期(予想)	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,211	7.5	11,022	111.4	10,012	88.2	5,911	93.1	43.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2024年2月通期(予想) 16,100百万円(55.2%) 2023年2月通期 10,373百万円(165.0%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期3Q	157,921,669株	2023年2月期	157,921,669株
2024年2月期3Q	22,193,147株	2023年2月期	22,204,488株
2024年2月期3Q	135,716,975株	2023年2月期3Q	135,642,227株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の解除により社会経済が正常化に向かう一方、国際情勢に起因するエネルギー資源や原材料の高騰、および為替の変動等による国内物価の上昇が消費マインド・企業活動に影響を及ぼしており、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

当アパレル・ファッション業界は、9月から11月の気温が例年に比べ高めに推移したことから、お客さまの購買行動に大きな変化を及ぼし、秋冬商戦の初動が遅れる影響がありました。

このような状況の中、当社グループは、商品マーチャンダイジングを柔軟に行ったことに加え、「クリック&トライ」サービスを導入したOMO(Online Merges with Offline)型店舗の運営力が一層向上したことなどから、主力ブランド事業の売上が引き続き好調に推移しました。また、グローバル事業構造改革の成果や商品サプライチェーン効率化の進捗などにより、営業利益率は前期と比べ上昇し、当第3四半期連結会計期間において増収および全段階利益での増益となりました。

以上の結果、連結売上高は1,413億83百万円(前年同期比8.4%増)、連結営業利益は97億円(前年同期比124.8%増)、連結経常利益は90億55百万円(前年同期比92.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億46百万円(前年同期比111.0%増)となりました。

また、当社グループでは新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大による成長を加速していく中で、会計基準の差異にとらわれることなく企業比較を容易にすることを目的とし、EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)を経営指標としています。

なお、当第3四半期連結累計期間のEBITDAは132億82百万円(前年同期比61.1%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

〔アパレル関連事業〕

国内事業は、中核事業会社である株式会社オンワード樺山において、『23区』などの主力ブランドが好調に推移し、また『UNFILO(アンフィーロ)』がヒット商品を創出するなどにより、売上が拡大しました。また、『KASHIYAMA』を展開する株式会社オンワードパーソナルスタイルでは、直営店舗およびB to B販売が好調に推移しました。

海外事業は、ヨーロッパ、アメリカ、アジアの各地域において増収を達成し、損益が大幅に改善しました。

以上の結果、アパレル関連事業は増収増益となりました。

〔ライフスタイル関連事業〕

ウェルネス事業を展開するチャコット株式会社は、SNSを活用したマーケティング施策を強化したことに加え、『チャコット・コスメティクス』でヒット商品を創出するなどにより売上が拡大しました。また、ペット・ホームライフ事業を展開する株式会社クリエイティブヨーコは、積極的な新規出店施策が奏功し、売上は引き続き好調に推移しました。

以上の結果、ライフスタイル関連事業は増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ136億58百万円増加し1,728億57百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が51億24百万円、商品及び製品が97億68百万円増加し、現金及び預金が11億38百万円、投資有価証券が9億9百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ160億12百万円増加し901億37百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億85百万円、電子記録債務が30億33百万円、短期借入金が124億77百万円増加し、長期借入金が13億12百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億53百万円減少し827億19百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益57億46百万円、剰余金の配当16億28百万円、その他有価証券評価差額金の減少10億55百万円、為替換算調整勘定の減少1億25百万円、非支配株主持分の減少51億82百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は44.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間において、売上高、営業利益、経常利益については、2023年10月5日公表の通期連結業績予想に対し概ね計画通りに推移しました。親会社株主に帰属する当期純利益については、好調な業績が継続することによる将来課税所得の増加が見込まれるため、繰延税金資産の計上に伴い法人税等調整額が減少することから、前回予想を上回る見込みです。

以上の結果、通期の連結業績予想を以下の通り上方修正します。

2024年2月期 通期(2023年3月1日～2024年2月29日)の連結業績予想数値の修正

	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,462	円 銭 40.25
今回修正予想 (B)	5,911	43.55
増減額 (B - A)	449	—
増減率 (%)	8.2	—
※(ご参考)2023年2月期	3,061	22.57

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,805	12,667
受取手形、売掛金及び契約資産	13,981	19,105
商品及び製品	27,297	37,066
仕掛品	486	531
原材料及び貯蔵品	2,935	3,204
その他	4,185	4,644
貸倒引当金	△437	△475
流動資産合計	62,255	76,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,498	19,652
土地	23,328	23,511
その他（純額）	10,303	10,985
有形固定資産合計	53,130	54,149
無形固定資産		
のれん	4,025	3,545
その他	5,081	5,488
無形固定資産合計	9,106	9,034
投資その他の資産		
投資有価証券	16,433	15,524
退職給付に係る資産	5,441	5,556
繰延税金資産	3,454	2,307
その他	9,708	9,726
貸倒引当金	△331	△185
投資その他の資産合計	34,706	32,928
固定資産合計	96,943	96,112
資産合計	159,198	172,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,154	8,739
電子記録債務	13,236	16,269
短期借入金	18,600	31,078
未払法人税等	1,129	900
賞与引当金	914	2,393
役員賞与引当金	179	108
その他	10,909	11,326
流動負債合計	53,124	70,817
固定負債		
長期借入金	8,657	7,345
退職給付に係る負債	2,886	2,865
役員退職慰労引当金	262	290
資産除去債務	2,563	2,605
その他	6,630	6,213
固定負債合計	21,000	19,319
負債合計	74,125	90,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,347	50,342
利益剰余金	16,042	20,201
自己株式	△20,748	△20,737
株主資本合計	75,721	79,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,620	1,565
繰延ヘッジ損益	30	△7
土地再評価差額金	△5,698	△5,738
為替換算調整勘定	1,441	1,316
退職給付に係る調整累計額	631	561
その他の包括利益累計額合計	△973	△2,303
新株予約権	82	76
非支配株主持分	10,243	5,061
純資産合計	85,073	82,719
負債純資産合計	159,198	172,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	130,397	141,383
売上原価	57,772	61,109
売上総利益	72,625	80,274
販売費及び一般管理費	68,309	70,573
営業利益	4,315	9,700
営業外収益		
受取利息	20	46
受取配当金	107	123
持分法による投資利益	-	42
為替差益	788	-
その他	338	176
営業外収益合計	1,255	388
営業外費用		
支払利息	234	392
持分法による投資損失	42	-
為替差損	-	380
その他	595	259
営業外費用合計	873	1,033
経常利益	4,698	9,055
特別利益		
投資有価証券売却益	123	362
関係会社株式売却益	1,303	-
その他	29	52
特別利益合計	1,456	415
特別損失		
臨時休業等による損失	4	-
減損損失	723	362
災害による損失	-	187
その他	153	48
特別損失合計	880	598
税金等調整前四半期純利益	5,273	8,872
法人税等合計	2,621	2,920
四半期純利益	2,652	5,952
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△71	205
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,723	5,746

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	2,652	5,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,777	△1,067
繰延ヘッジ損益	80	△38
為替換算調整勘定	3,374	△129
退職給付に係る調整額	△34	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	-	16
その他の包括利益合計	7,197	△1,289
四半期包括利益	9,849	4,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,435	4,457
非支配株主に係る四半期包括利益	414	205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社および一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しています。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っています。

また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしています。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業			ライフスタイル 関連事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	(国内)	(海外)	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	89,836	9,536	99,372	31,025	130,397	—	130,397
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	706	1,284	1,990	1,192	3,182	△3,182	—
計	90,542	10,820	101,363	32,217	133,580	△3,182	130,397
セグメント利益又は損失 (△)	3,227	△1,111	2,115	3,138	5,254	△938	4,315

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△938百万円には、のれんの償却額△614百万円およびセグメント間取引消去2,345百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,669百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要な発生および変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業			ライフスタイル 関連事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	(国内)	(海外)	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	97,764	11,120	108,884	32,499	141,383	—	141,383
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	806	1,484	2,290	858	3,149	△3,149	—
計	98,570	12,604	111,175	33,357	144,532	△3,149	141,383
セグメント利益又は損失 (△)	7,114	△525	6,589	3,712	10,302	△601	9,700

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△601百万円には、のれんの償却額△622百万円およびセグメント間取引消去2,814百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,793百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要な発生および変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。